

ヒゴワクチン



対象者: 生後2か月～5歳になる前日まで

※初回1回目で5種混合ワクチンを選択した場合、4種混合・ヒブの接種はありません。すでに、4種混合又はヒブを接種した方は、同一のワクチンで接種を完了してください。

👉ヒブが原因で起こる病気

気管支炎、肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、細菌性髄膜炎、敗血症、急性咽頭蓋炎、細菌性関節炎などの重い全身感染症を起こします。その中でも細菌性髄膜炎の割合が多く、その半分以上はヒブが原因といわれています。

💀重症化の恐さ

初期症状は発熱や嘔吐、不機嫌、けいれんなどで、一見風邪などの他の病気の症状と似ているため早期診断が難しく、適切な治療が遅れる心配があります。

亡くなる子供も2～5%いて、脳の後遺症が30%位残ります。重症化すると、髄膜炎の後遺症としては、発達・知能・運動障害、難聴などが起こります。

<予防接種スケジュール> ※接種開始の年齢で回数が決まります。

初回接種の1～3回目は1歳になる前までに行います。1歳になると初回の接種が残っていても次は追加接種となり、その際は前回の接種から27日以上の間隔をあけて1回行います。

生後6ヶ月以降からかかる赤ちゃんが増えますので、生後2ヶ月になったらできるだけ早く接種しましょう。

| 接種開始年齢 | 回数 | 接種間隔 |
|----------------------|----|--|
| 【標準的な受け方】 生後2～6か月 | 4回 | <p>初回接種 → 追加接種</p> <p>1回目 → *27日以上あけて → 2回目 → *27日以上あけて → 3回目 → 7ヶ月以上あけて → 4回目</p> <p>*標準的には27日～56日までの間隔</p> |
| 生後7～11か月 | 3回 | <p>初回接種 → 追加接種</p> <p>1回目 → *27日以上あけて → 2回目 → 7ヶ月以上あけて → 3回目</p> <p>*標準的には27日～56日までの間隔</p> |
| 1歳～4歳 | 1回 | 1回 |